

# 宮城県感染症発生動向調査情報

2023.3.20 ~ 2023.3.26 - 第12週 -

令和05年03月30日発行

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第9週	第10週	第11週	第12週
水痘	1 0.25		1 0.14			1 0.04	3 0.05	46				
流行性耳下腺炎		1 0.10				1 0.04	2 0.03	17				
感染性胃腸炎	29 7.25	26 2.60	43 6.14	45 5.63	3 1.50	162 6.00	308 5.31	5,282	◎	◎	◎	◎
手足口病							0 0.00	10				
伝染性紅斑							0 0.00	10				
突発性発しん		1 0.10	6 0.86	2 0.25	1 0.50	7 0.26	17 0.29	180				
ヘルパンギーナ							0 0.00	0				
インフルエンザ	60 8.57	54 3.38	81 7.36	9 0.69		295 6.70	499 5.25	4,126	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		1 0.10				6 0.22	7 0.12	85				
流行性角結膜炎			1 1.00				1 0.08	27				
急性出血性結膜炎							0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2 0.20				4 0.15	6 0.10	203				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	2				
無菌性髄膜炎							0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	7				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	3 0.75			4 0.50		2 0.07	9 0.16	303	○	レ		
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)				2							
	川崎病								◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発疹症					3						

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))  
石巻管内 男性1名  
結核(無症状病原体保有者)  
塩釜管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症  
仙台管内 男性1名 (*Klebsiella aerogenes*)  
侵襲性肺炎球菌感染症  
大崎管内 女性1名(第11週)  
梅毒  
仙台管内 男性1名(第10週)、男性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)  
宮城県(仙台市を除く) 619名  
仙台市 497名

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より  
気仙沼管内 第12週採取分 SARS-CoV-2 2件

インフルエンザ患者より  
大崎管内 第11週採取分 インフルエンザAH3 3件  
気仙沼管内 第11,12週採取分 インフルエンザAH3 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第9週採取分 (2.27~3.5)	第10週採取分 (3.6~3.12)	第11週採取分 (3.13~3.19)
インフルエンザウイルスA(H3)	2件	1件	1件
インフルエンザウイルスC	0件	2件	0件
RSウイルス	1件	0件	1件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザ(解析中)	0件	0件	1件

## 4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第12週の新型コロナウイルス感染症患者数は1,116名と12週連続で減少しています。一方で、インフルエンザ患者数は前週の375名から499名へ再び増加に転じ、石巻と気仙沼を除く全ての管内で増加しています。

異動や進学等で人の動きが活発になり、感染機会の増加が懸念されるため今後の動向に注意し、基本的な感染対策の徹底に努めてください。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の497名から308名となり、2週連続で減少していますが保育施設等での集団感染事例が継続して発生しているのに注意が必要です。集団感染事例の原因の多くがノロウイルスで、ノロウイルスは感染力が強く、感染経路も汚染した手指や食品など様々なので、調理・食事前の手洗いなどの基本的な対策を徹底してください。また、アルコール消毒が効きにくいいため、消毒する際は次亜塩素酸ナトリウム溶液(薄めた塩素系漂白剤)を使用してください。

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報はありません。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

